

“そのとき” 身を守るために

災害は、いつやってくるかわかりません。明日やってくるかもしれない災害から身を守るためには、日頃からの備えが重要です。

問 総務課 防災危機管理係 ☎62-9326

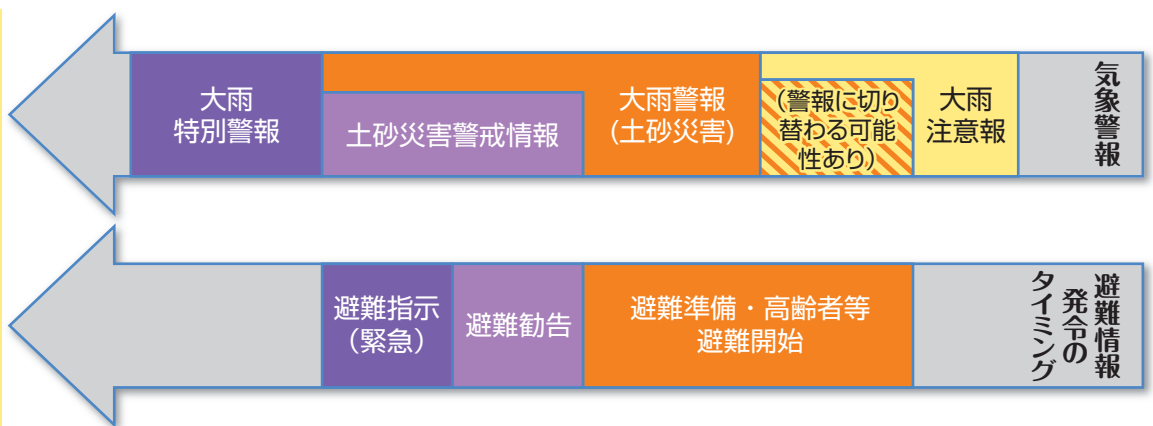
土砂災害から身を守る

避難情報を正しく知ろう

水害や土砂災害等により、人的被害が発生する危険性が高まった、もしくは既に被害が発生した際に、町が発令する避難情報は、「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の3種類があります。避難情報が発令されたときは、命を守るため避難情報に応じた行動を取ってください。

避難指示（緊急）	避難勧告	避難準備・高齢者等 避難開始	避難 情報
・災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった状況 ・居住者などに対し、避難のため立ち退かせるもの	・災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった状況 ・居住者などに対し、避難のための立ち退きを進め又は促すもの	・今後、避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される状況 ・避難に時間がかかる要配慮者が避難行動を開始する段階	情報の意味
・まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難してください。 ・外出することがかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難してください。	・速やかに避難場所へ避難してください。 ・突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域や、急激な水位上昇の恐れがある河川沿いに住んでいる方は、当該区域外の少しでも安全な場所に速やかに避難してください。	・高齢の方、体が不自由な方、小さなお子さんがいる方など避難に時間がかかる方とその避難を支援する方は避難を開始してください。 ・その他の方は、避難の準備を整えてください。	取るべき行動

気象情報と避難情報の流れ



※あくまで目安であり、実際にはさまざまな情報を総合的に判断し発令されます。

情報発信の方法

適切な避難行動を取るために、発信される情報を積極的に収集し活用しましょう。

- ・防災行政無線
- ・有線（告知）放送
- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・町防災メール
- ・緊急速報メール（エリアメール）
- ・広報車

富士見町防災メールへ登録してください

スマートフォン・携帯のバーコードリーダーで右のQRコードを読み取ってください。



※迷惑メール対策をしている場合は

【mail@admj.biz】アドレスを受信できるよう設定してください。

※バーコードリーダーがない機種は、下のアドレスを直接入力してください。http://admj.biz/subscriber/?storeID=146

地震から身を守る

大きな地震から身を守るため、一人が正確な知識を持つことが重要です。まずは、命を守ることを第一に考え、地震に備えましょう。

●町で想定している地震を知ろう

長野県では、地震被害想定調査を平成25年～26年の2か年をかけて実施し、平成27年3月にその結果を発表しました。被害想定によると糸魚川静岡構造線断層帯の地震が発生した場合、富士見町の一部では震度7の揺れが発生すると予想されています。

●富士見町総合防災訓練を行いました

町では、9月2日(日)に糸魚川静岡構造線断層帯の地震が発生したことを想定し、住民、自主防災会、町の各部署、関係機関が迅速に災害対応できるよう「富士見町総合防災訓練」を実施しました。



自助・共助・公助の連携

防災には、「自助・共助・公助」の連携が重要であると言われています。

自助

防災の基本。自分の命は自分で守る、自分のことは自分で助ける、または、何とかする行動のこと。非常持出品や非常食を準備したり、家具の転倒防止対策をしたり、住宅の耐震補強をすることも重要です。

共助

自分や家族だけでなく隣近所などの小さなコミュニティ単位で、災害発生時に実際に助け合う体制を構築すること。大規模災害時には、救助を必要とする方が多く発生するため、救助隊ばかりには期待できません。隣人同士で助け合うことが重要です。

公助

公的な防災活動のこと。災害発生時には、行政、自衛隊、消防、警察などによる救助活動、避難所開設、支援物資の支給などが行われます。また、平時の防災備品の充実や耐震化工事、自主防災会に対する助成、防災情報の周知や広報などの取り組みも含まれます。

日頃の備えはできていますか？

この機会に、十分な備えがあるか確認しましょう。

○非常持出品の例

- ☐ 飲料水 (一人一日3リットルを目安に、3日分を用意)
- ☐ 食料品 (カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
※アレルギーをお持ちの方は対応品の用意をしましょう。
- ☐ 貴重品 (預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
- ☐ 救急用品 (ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ☐ ヘルメット、防災ずきん ☐ マスク ☐ 軍手、手袋 ☐ 懐中電灯
- ☐ 衣類、下着 ☐ 毛布、タオル ☐ 携帯ラジオ、予備電池
- ☐ 使い捨てカイロ ☐ トイレットペーパー、ティッシュペーパー
- ☐ ウェットティッシュ ☐ 洗面用具 ☐ カセットコンロ

※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「一週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。
※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

防災ガイドブックを活用しましょう



今年7月に「富士見町防災ガイドブック」を更新しました。平成27年に県が公表している地震被害想定調査の結果が反映されています。災害に備え、ぜひ一読ください。

※お持ちでない方は、お問い合わせください。